

今日のトピック 2024年9月の注目イベント

FOMCと日米の政治イベントに注目

- 米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長は8月23日、経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」の講演で、「政策を調整すべき時が来た」と、次回9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での利下げをほぼ明言しました。9月17～18日のFOMCで4年半ぶりとなる利下げが確実視されるなか、利下げ幅に加え、FOMC参加者が適切と考える政策金利の見通し（ドットチャート）が注目されます。
- 米国では、共和党のトランプ前大統領と民主党のハリス副大統領が9月10日に、11月の米大統領選に向けた「テレビ討論会」に臨む見通しです。両氏が初めて直接対決するテレビ討論会は、大統領選に大きな影響を及ぼすとみられ、軍配がどちらに上がるかが注目されます。ただ、トランプ氏は、主催するテレビ局の公平性に疑義を唱えて不参加の可能性も示唆しました。
- 日本では、岸田総理大臣の後任を選ぶ自民党総裁選が9月27日に行われます。今回の総裁選は、従来の派閥の力学が働きにくく、これまでに10人以上が出馬に意欲を示しており、混戦模様となっています。上位2名による決選投票となる可能性が高いとみられるなか、各候補者が掲げる経済政策に注目が集まります。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年9月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
3日:8月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 4日:米地区連銀経済報告、7月貿易収支 5日:8月ISM非製造業景況指数 6日:8月雇用統計 10日:米大統領選テレビ討論会	5日:ユーロ圏7月小売売上高	2日:中国財新8月製造業PMI 4日:中国財新8月非製造業PMI、豪州4-6月期GDP 9日:中国8月PPI、8月CPI 10日:中国8月貿易収支	2日:4-6月期法人企業統計 5日:7月毎月勤労統計 6日:7月家計調査、7月景気動向指数 9日:7月国際収支、8月景気ウォッチャー調査
11日:8月消費者物価指数(CPI) 12日:8月生産者物価指数(PPI) 13日:9月ミシガン大学消費者信頼感指数 17日:8月小売売上高、8月鉱工業生産 17-18日:FOMC	12日:ECB理事会 13日:ユーロ圏7月鉱工業生産 16日:ユーロ圏7月貿易収支 18日:イギリス8月CPI 19日:イングランド銀行金融政策委員会	14日:中国8月小売売上高、8月鉱工業生産、8月固定資産投資 18日:ブラジル金融政策決定会合 19日:トルコ金融政策決定会合	12日:8月企業物価指数 18日:7月機械受注 19-20日:日銀金融政策決定会合 20日:8月全国CPI
23日:9月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 24日:7月ケースラー住宅価格指数 25日:8月新築住宅販売 27日:8月個人消費支出(PCE)デフレーター 、8月PCE、8月個人所得	23日:ユーロ圏9月製造業・非製造業PMI 24日:ドイツ9月IFO企業景況感指数	24日:豪州金融政策決定会合 26日:メキシコ金融政策決定会合 30日:中国9月製造業・非製造業PMI、中国財新9月製造業PMI	25日:8月企業向けサービス価格指数 27日:自民党総裁選 、9月東京都区部CPI 30日:8月鉱工業生産、8月住宅着工件数、8月小売業販売額

(注) 2024年8月23日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。

(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之 (いしい やすゆき)

ここもチェック! 2024年7月26日 2024年8月の注目イベント
2024年6月26日 2024年7月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。